

活動実績アピール入試

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。
※海外で就学された方も受験可

趣 旨

中学卒業後から出願時までに修得した英語能力や海外留学等の国際経験をはじめ、学業、文化、芸術、スポーツ、ボランティアなど、さまざまな分野での活動実績・成果と、入学後の活動意欲や学修意欲を評価します。入学後の学修および正課外活動の両立を高いレベルで実現することをめざす人はもちろん、活動は継続しなくても、意欲的な取り組みにより培われた能力を活かし、入学後の生活を積極的に進めることのできるみなさんの入学を期待しています。

選考方法

■ 第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」を英語で作成してください。



選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心、入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性・説得力
- 言語能力 ●コンクール・大会等での活動成果
- 海外での学習成果 ●取得資格等の水準
- エッセイ：高校時代の学習や課外活動における成果とその振り返りなど

第1次選考 合格者



■ 第2次(最終)選考

個人面接/オンライン(約20分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



選考・評価のポイント

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるか など

出願期間 試験日 試験地 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考	第2次(最終)選考	合格発表日	
		結果通知日	試験日*		
第1回	2022年 9月1日(木)～ 9月14日(水)	9月30日(金)	10月8日(土)または 10月9日(日)	11月1日(火)	※アジア 太平洋学部/ 国際経営学部 のみ対象
第2回	2022年 9月29日(木)～ 10月12日(水)	10月28日(金)	11月5日(土)または 11月6日(日)	11月22日(火)	
第3回	2022年 10月27日(木)～ 11月9日(水)	11月25日(金)	12月3日(土)または 12月4日(日)	12月13日(火)	
第4回	2022年 12月8日(木)～ 12月19日(月)	2023年 1月13日(金)	1月21日(土)	1月31日(火)	

*第2次(最終)選考の試験日は、本学が指定します。
※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)(2)の両方に該当し、かつ(3)(4)のいずれかに該当する者。また、英語基準出願者は(5)も満たすこと。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校(中等教育学校を含む)を2021年4月1日から2023年3月31日までに卒業または卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。

(3) 【カテゴリーA(英語能力・留学経験アピール)】

次の①～③のいずれかに該当する者。

- ①英語能力に関して、TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコアを持つ者。
- ②International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
- ③外国における高等学校に相当する課程で、正規の教育制度に基づき通算3ヵ月以上の教育を受けた者。

TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコア
P.4へ

(4) 【カテゴリーB(言語・学芸・社会活動・スポーツ等アピール)】

中学卒業後から出願時までの諸活動において優れた実績を持つ者*1で、高等学校の全体の学習成績の状況(評定平均値)が5段階で3.5以上の者*2。また、数学について、少なくとも「数学I」ならびに「数学A」を履修し、単位を修得している、または修得見込みである者。

(アピールできる諸活動は最大3件までとし、2018年4月2日以降のものに限ります。)

*1 1次ページの「活動実績評価の目安」を参照ください。

*2 高等学校に相当する課程で、日本と日本国外の両方の高等学校に在籍した者は、日本の高等学校の全体の学習成績の状況(評定平均値)が5段階で3.5以上必要です。

【英語基準出願者のみ】

(5) 英語能力に関して次の①～③のいずれかに該当する者。

- ①TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。
- ②International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
- ③日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目(言語教育科目を除く)を英語で受講した者や英語を母語とする者など十分な英語力を有していると本学が認めた者。

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア
P.4へ

出願するカテゴリー以外の活動実績もアピールすることが可能です。提出された活動実績は3つまで評価します。なお、これらはいくまでも目安です。下表の活動以外でもアピールすることが可能です。ただし、個別の活動や証明書について、実績または証明として成立するかどうか大学にお問い合わせいただいても回答できません。志願者自身で判断して提出してください。

分野(例)	本学が入学者に求める活動実績・成果の水準(目安)
英語関連資格	TOEFL iBT® Test 61点程度 (TOEIC® L&R/S&W TEST 1420点、IELTS (Academic Module) 5.5、実用英語技能検定準1級、GTEC 1115点、TEAP 280点、TEAP CBT 535点、ケンブリッジ英検 153点等)、PTE Academic 45点
言語	<ul style="list-style-type: none"> ●【中国語】中国語検定4級、実用中国語技能検定4級、HSK2級 ●【韓国語】韓国語能力検定2級、「ハングル」能力検定4級 ●【スペイン語】スペイン語技能検定4級 ●【上記以外の言語】スピーチコンテスト参加
留学経験	●3か月以上の海外留学経験および留学先での優秀な学業成績・成果
生徒会活動 ボランティア 自主活動等	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒会(会長・副会長等執行部)の活動や、社会的に評価を得た(新聞に掲載された等)その他社会的な活動(ボランティア等) ●「日本の次世代リーダー養成塾」等、高校生対象の人材育成プログラムへの参加実績 ●高校生を対象とする弁論・スピーチ、ビジネスプラン、課題学習等各種コンテストでの入賞歴
文化・芸術	●都道府県大会レベル以上のコンクール・コンテストへの出場経験、およびその成果 ※活動分野は特に限定しません。
スポーツ	●都道府県大会レベル以上の試合・競技会等への選手(競技者)またはチームマネージャー等としての出場経験、およびその成果 ※種目は特に限定しません。
学術	<ul style="list-style-type: none"> ●スーパーグローバルハイスクール(SGHアソシエイト含む)での活動による研究会や発表会でのポスターセッション、研究発表の成果(ただし、成果物のコピー等に加え、主催者や教員からの推薦書、評価書等の客観評価資料<書式は自由>を添付すること。) ●社会的に評価を得た学術分野の諸活動における取り組みやその成果
各種資格等	<ul style="list-style-type: none"> ●基本情報技術者試験合格、日商簿記2級以上、日商珠算能力検定1級、ニュース時事能力検定試験1級 ●2年以上の公公式学習履歴があり、公文認定テストの高校基礎課程テスト(または最終教材修了テスト)で英語を含む2教科以上に合格

※過年度合格者の活動実績・成果【一部のみ】

- 1年間アメリカ合衆国留学、TOEFL iBT® Test 74点、高校生英語ディベートコンテスト県準優勝
- 1年間オーストラリア留学、模擬国連会議地区大会参加
- タイでのボランティア・スタディツアー参加
- 日本の次世代リーダー養成塾参加
- 実用英語技能検定準1級、生徒会長、県高校体育大会(馬術競技)2位
- 全国高校総合体育大会(水球)ベスト8
- 吹奏楽県コンクール金賞、全国高等学校総合文化祭文化連盟賞
- 全国高校将棋選手権女子個人の部優勝、将棋部部长

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて中止・延期等となった大会や資格・検定試験等について
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて中止・延期等となった大会や資格・検定試験等について「活動実績報告書」に記載する場合は、中止・延期等となった事実に加えて、それらの大会や資格・検定試験等に参加を予定していたり、そのために準備していたりしたことを客観的に示す資料を作成し、提出してください。

この方式の対策は？

- 3か月以上の短期留学でもアピールできます。留学で伸ばした語学力も資格をとってアピールしましょう。
- 語学の資格とクラブ活動での入賞など、複数の活動実績をアピールすることもできます。
- 語学の資格がなくても他の活動で実績があれば積極的にアピールしましょう。
- エッセイは、自らを振り返り、経験を通じて成長したことや困難をどの様に乗り越えることができたかなどを具体的に表現しましょう。
- 面接では志望理由や活動のアピールも大事ですが、普段から社会情勢などにアンテナを張って自分の意見を表現する練習もしましょう。